



平成23年5月11日

各 位

上場会社名
代表者
(コード番号
問合せ先責任者
(TEL

株式会社フェローテック
代表取締役社長 山村 章
6890)
代表取締役副社長 山村 文
03-3281-8186)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年2月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	54,000	5,500	4,600	3,200	129.01
今回修正予想(B)	57,000	6,900	6,200	4,400	177.27
増減額(B-A)	3,000	1,400	1,600	1,200	
増減率(%)	5.5	25.4	34.7	37.5	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	31,541	703	524	156	6.58

修正の理由

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年3月期通期連結業績予想を修正いたします。

当社の事業セグメントは、装置関連事業、太陽電池関連事業、電子デバイス事業です。

装置関連事業においてエレクトロニクス産業では、半導体市場でD-RAM価格が一時的に調整されたものの、FPDやLED製造装置用途の受注は比較的堅調でした。また、半導体の製造プロセスに使用されるマテリアル製品も底堅く推移いたしました。太陽電池関連事業では、シリコン結晶製造装置に関し、顧客要求に応えるべく生産能力を拡大したため出荷数が伸張しました。太陽電池用シリコン製品も、市場需要が旺盛で堅調に推移しました。また、電子デバイス事業のサーモジュールは、調整局面に入り影響がありましたが、通期の連結売上高は、前回予想を上回る見込みです。

利益面におきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加や販売管理費の抑制などにより、営業利益は前回予想を上回る見込みです。また、円高基調が続いておりましたが、期末に向け円高進行とならず安定して推移したため、為替差損が想定より減少いたしました。

先に発生した東日本大震災による特別損失を計上いたしましたが、経常利益及び当期純利益ともに前回予想を上回る見込みとなったため、通期連結業績予想を修正いたします。

東日本大震災による被害の状況

本年3月11日に発生した東日本大震災により、当社の釜石事業所が津波に被災し、会津事業所も一部損壊しました。被害を受けた資産の主なものは、建物、建物付帯設備、機械装置等の固定資産及び製品、仕掛等の棚卸資産です。加えて支援物資及び建物補修費が発生しました。これらの資産等の損失額は、488百万円を見込んでおります。

尚、被災した釜石事業所の従業員は全員無事であり、同事業所の機能回復のため、千葉テクニカルセンターと統合を図り、フェローテック千葉工場と名称も新たに5月1日より稼働しております。

※上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上